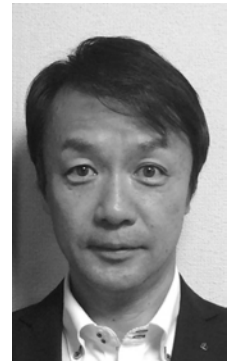


『有意義な50歳代を おくるために』

ホーチキ株式会社

セキュリティシステム部 星野 広一



書店には「50代にしなければならないこと」「60歳になる前にやっておくこと」「50代にできること、しておきたいこと」等、第2の人生のために50歳代でやるべき事を説いた書籍が非常に多く出ている事に驚かされる。自分は50歳を目前に控えた48歳頃に今の生活を変えたいと思い始めた。それはお世話になった何人かの元上司が60歳代の若さでお亡くなりになったり、営業マンとしてキラキラ輝いていた諸先輩方が定年や再雇用終了で寂しく会社を去っていく姿を目の当たりにした事で感じ、仕事は一生懸命やりつつも、仕事以外も全力で楽しみ有意義な50代にしたいと思ったのだ。その様な事を思い始めた2年前の2013年4月、自分にとっては大きな転機が訪れた。それは部長を拝命され、全社のセキュリティ部門の責任者という大役を仰せつかった事だ。今まで営業一筋で口だけで勝負をしてきた自分が事業責任者としてやっていけるのか不安一杯であった事を今でも覚えている。しかし、不安な気持ちで一杯にも拘らず、役員クラスから部下まで周りから言われた事は仕事の事ではなく「部長なんだからゴルフをやらないと…」であった。振返ってみると30代半ばから40代のプライベート生活は二人の息子との野球にどっぷり浸かっていた。小学生の学童野球では監督やコーチを務め、中学硬式野球のシニアリーグではクラブチームの審判部に所属しクラブやシニアリーグの運営に関わり、高校野球では父母会副会長として走り廻っていた。そのためゴルフをやろうとの発想は全く無く、逆に避けて通ってきていた。その息子も大学に進み野球は続けているが、親としての出番は全くなく、私は休日を持て余す日々を送っていて、何かしなければと思っていた時期でもあった。

周りから言われた事で、ゴルフをやっている人たちの話に耳を傾けてみると、「退職された〇〇さんとゴルフしてきた」「学生時代の友人とゴルフやった」「知らない人ばかりだったけど客先のコンペに出てきた」等が聞こえてきた。これらの話からゴルフは社内外での付き合いが広がり、年を重ねても長くできるスポーツであると思い、ゴルフを真面目にやる事を49歳(2013年11月)になった時に決意し、50歳で100を切るという目標を設定した。しかし、この頃は平日飲んだくれて、土日はクタクタになっている生活の自分がゴルフ本を読み、ゴルフ練習場へ行って自分だけで練習をするという事は想像できなかったため、型にはめる必要があると考え、ゴルフレッスンに通う事も決意。50歳間近の男がレッスンに通うという事への抵抗感はあったが、決めた事を全うするために通い始めた。レッスンは健康保険組合の施設で開催されている1クール10回のレッスンで18,000円と格安なものに参加する事とした。コーチは元女子プロで10数年レッスンプロとして他のゴルフ場でも教えてきているベテランコーチである。私以外の生徒は予想とは違い年上の方が殆どで、コーチも生徒も年配者だらけだったので、楽な気持ちでレッスンに入る事ができた。このレッスンは今も続けており毎週土曜日のルーティンとなっている。去年の11月に50歳になったが、未だ100は切れておらず、ベストスコアは102、51歳までは残り6ヶ月程度しかないが、レッスンを続け50歳で100を切る目標を達成をさせたいと思っている。ゴルフを始めて1年半、コースデビューから1年になるが、会社のコンペ等定例化されているイベントへは参加できるが、50代の生活を変えたい、楽しく有意義にしたいと思っていた自分には何か物足りなさを感じ、社内外の知り合いを集めてゴルフの会を複数作った。

①一の会

構成メンバーは労働組合の仕事を一緒にしたメンバー、会名の由来はメンバー全員の名前に「一」が入っているから。この会は社内で有名になっており、メンバーに入りたいとの希望者が出てくる程で、「拡大一の会」を8月に開催する事となっている。

②ほしくんと愉快的イケメン達

構成メンバーは次男の中学硬式野球チームで知り合った親父仲間。会名の由来は私のLINEの名前が「ほしくん」であり、他のメンバーは自分達をイケメンと思っている親父たちの集まりだから。

③ちーぴん会

構成メンバーは世代を超えた会社の仲間。会名の由来は最初にコースへ行った時に一番若い者(私の12歳下)がちーぴん(左に曲がってしまうフックボール)を連発していたから。



一の会



ほしくんと愉快的イケメン達

これらの会は今後も続け自分が定年しても継続したいと思っているが、更に他の会を発足させ、人脈を広げて50代を楽しむと共に様々な人との出会で刺激を受けて自己成長に繋がれたらと思っている。レッスン効果か、ゴルフで同じ組になった方々からは「スイングが綺麗」とのお褒めの言葉をよく頂く。年を取り体も硬くなり可動範囲も狭まっている状況でありながら、非常にうれしい言葉である。ゴルフは50代からでも始められるスポーツであり、人との付き合いを広げ、長く楽しくできるスポーツであるので、踏み出せず悩んでいる方は、勇気を出して是非トライして頂きたい。

ゴルフの話が殆どであったが、自分の50代の生き方としてはゴルフだけでは満足できない。ゴルフ以外で些細な事も含めてやり始めた事、変えた事、今後やっていこうと思っている事がある。

①硬式テニス

学生時代から入社後数年間はテニスをやってきたが、十数年ラケットを握っていない。錦織圭の活躍による刺激もあり、会社内で仲間を募り再開した。これにもチーム名(HOTT(ホーチキオールドテニスチーム))を付けて、月1回テニスを楽しんでいる。

②コンサート、ミュージカル、演劇、歌舞伎等の鑑賞

今まで殆どコンサートや演劇等は鑑賞した事はない。50代は「観る」体験をしていきたいと思っている。8月にレベッカの復活コンサートチケットを先行販売で手に入れた。会社の先輩と行く事になっており今から楽し

みである。コンサート以外にも今後はミュージカル、演劇、歌舞伎等を鑑賞する事で、感性を磨き人間性を豊かにできたらと思っている。

③ヘアーカット

野球に携わるようになってからは、時間的問題からヘアーカットは1,000円カットに行っていたが、野球も終り顔が老いたし、髪の毛がある間はおしゃれなおじさんになろうと美容院でのカットに変えた。美容院の30代のサーファー美容師(カリスマ?)に初めて会った時に、「このヘヤースタイルはおじさんばいですね～」とはっきり言われた。今ではその美容師任せでカットをしてもらっており、若い美容師との会話で色々な刺激を受けている。

今回書かせて頂いた事は、誰かが誘ってくれた事で実現した事ではなく、50代を有意義に過ごしたいという気持ちから自ら能動的に行動した事で実現した。誰かからの誘いを待ったり、誰かが変えてくれるという期待をしても何も変わらないという事をここ数年で感じたからだ。やりたければ、変えたければ「自ら能動的に動く」という考えを持ち続けていく事が大事であり、持ち続けていれば、楽しい事との出会い、自分の刺激となる人たちとの出会いがあると思う。これからも能動的に動き新たな楽しみ、新たな出会いを模索し続けて有意義な50代、60代…にしていきたいと思っている。



HOTT